

ふるさと東総

平成26年 3月1日発行 No.13

掲載 内容

- 東総地区広域市町村圏事務組合管理者あいさつ 2
- ごみ処理広域化推進事業 2
- 銚子連絡道路早期整備への促進 3
- 東総地区広域市町村圏事務組合の概要 3
- 中学生海外派遣研修事業 4
- その他の主な事業 4
- 情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況 4



【中学生海外派遣研修事業 交流校であるマレーシアのプツゥリ・クライ校にて】

編集・発行／東総地区広域市町村圏事務組合

〒289-2521 千葉県旭市八の 612-1 東総振興センター内
電話：0479-62-3305 FAX：0479-62-3302
ホームページアドレス <http://www.tksj.jp/>

はじめに ～これからの広域行政が担う役割～

2020年オリンピック・パラリンピックの東京開催が決定し、国内にもわかに活気が戻り、経済におきましては景気が回復の方向に向かっている兆しが伺えます。しかしながら消費税の引き上げによる消費の落ち込みなど不安要素も多く、先行きがまだまだ不透明な状況であります。また、この東総地区におきましては、3年前の東日本大震災の復興が徐々に進んではおりますが、まだ一部の方々は以前の生活を取り戻していないのが現状であります。

このような状況の中で、地方の役割は重要であり、地域の自主性および自立性を高めるための改革が推進されております。日常生活圏の広がりに対応した行政サービスの提供、まちづくりなどの高度化する行政事務への対応および広域的な行政需要への対応がますます重要となっております。

この東総地区広域市町村圏においても、地方道路の整備やごみ処理の広域化などの住環境整備や福祉・医療施策など広域的な行政サービスの充実が望まれています。数多くの課題はあると思いますが、圏域構成市と連携し、圏域住民の皆さまと一体となり、この東総地域の恵まれた自然環境、観光資源や産業基盤などを活かしながら、人と自然が調和し安心して暮らせる地域の実現を目指して、これからの広域行政に取り組んでまいります。圏域住民の皆さまの御理解と御協力をお願いいたします。



東総地区広域市町村圏事務組合管理者（旭市長） 明智 忠直

ごみ処理広域化推進事業

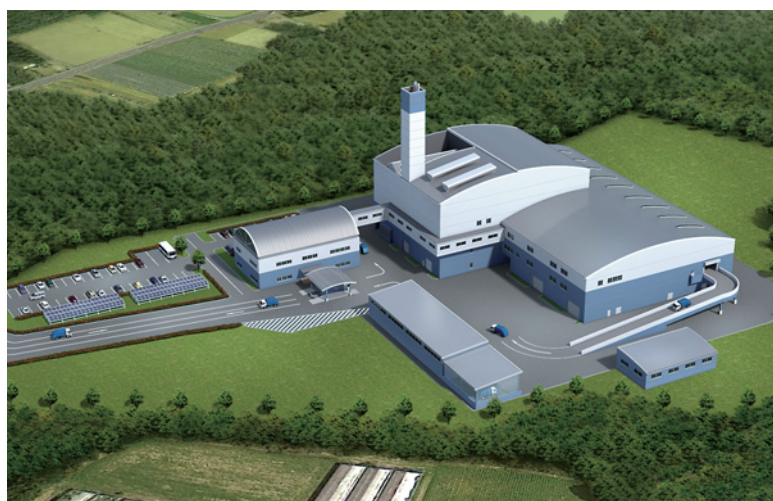
銚子市内で 広域ごみ焼却施設と 最終処分場の建設を 目指しています

事務組合では、皆様のご家庭や事業所から排出される一般廃棄物を処理する広域ごみ焼却施設（資源化施設も併設）と広域最終処分場を整備する「ごみ処理広域化推進事業」に取り組んでいます。

現在、広域ごみ焼却施設については、銚子市野尻町地区を建設計画地として、周辺地域にお住まいの皆様のご理解が得られるよう取り組んでいます。

また、広域最終処分場についても、銚子市内において建設することを目指しており、昨年3月に設置した学識経験者、市民の代表の方々、3市の環境担当課長などで組織する「東総地区広域最終処分場候補地選定委員会」において候補地の選定を進めてきました。今年度中に候補地を決定する予定であり、その後、周辺地域にお住まいの皆様のご理解が得られるよう取り組んでいきます。

これらの施設は、私たちの生活に欠かすことができない重要な施設です。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



▲広域ごみ焼却施設イメージ図

ごみ処理
広域化の
メリット

- ・ダイオキシン類の排出削減
- ・リサイクルセンターを充実させ、効率的な再資源化の促進
- ・焼却エネルギーを利用した売電や温熱供給が可能
- ・人件費、維持管理費など、ごみ処理経費の削減 …… など

銚子連絡道路早期整備への促進

地区大会

平成25年5月29日、銚子市青少年文化会館において第15回銚子連絡道路整備促進地区大会を開催いたしました。

国・県・沿線市町関係者等大勢の方々の出席のなか、大会主催者代表としてあいさつに立った山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会会長（旭市長）は、「山武・東総地域は、恵まれた自然環境と、豊富な農水産物の資源を有しているという、地域の特性を活かし、首都圏や千葉都市圏の生活基盤を支える役割を担うという自負のなか、安定した農・水・畜産品の生産と提供、そして地域住民が安心して豊かに暮らせる地域社会の確立には、道路網整備が不可欠であります。」と、この銚子連絡道路の早期整備を来場者に訴えました。



要望活動

第15回銚子連絡道路整備促進地区大会での決議をふまえて、平成25年8月23日、山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会は、地元選出議員である林幹雄衆議院議員とともに、国土交通省を訪し、銚子連絡道路の早期完成に向けての要望活動を行いました。

国土交通省



東総地区広域市町村圏事務組合の概要

○事務組合の構成

構成団体：銚子市、旭市、匝瑳市

圏域面積：315.60平方km

圏域人口：179,082人

銚子市 面積：83.91平方km 人口：70,210人

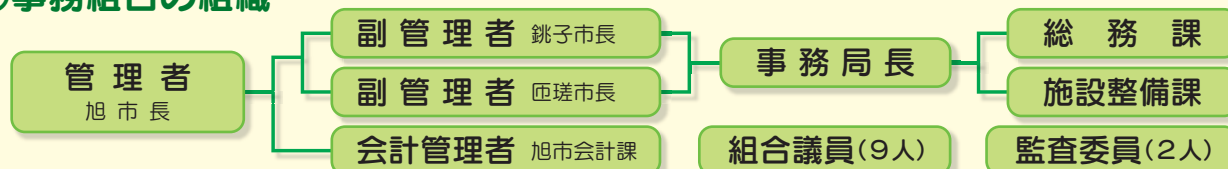
旭市 面積：129.91平方km 人口：69,058人

匝瑳市 面積：101.78平方km 人口：39,814人

【平成22年国勢調査より】



○事務組合の組織



平成25年度 東総地区中学生海外派遣研修事業

圏域内中学2年生29名の参加による『東総地区中学生海外派遣研修（シンガポール／マレーシア）』が、平成25年7月30日～8月3日（4泊5日）の日程で実施されました。

この研修では、シンガポールでの班別自主研修やマレーシアのプツウリ・クライ校を訪れての交流会、プツウリ・クライ校生徒と一緒にマレーシア文化村でのバティック体験など、積極的な英会話の実践をテーマに充実した研修を行いました。

班別自主研修では、事前の研修会で計画した行動予定に従ってシンガポールの街を散策しました。各班ともなかなか計画通りには進みませんでしたが、班員が協力し合い、これまで学習した英会話に身振り手振りを交えながら、道を尋ねたり買い物をしたりと楽しく一日を過ごしました。

マレーシアのプツウリ・クライ校での交流会では、現地校生徒からは各種民族舞踊などが披露され、こちらの研修団からは書道実演・紙芝居・ダンスパフォーマンスを披露しました。そして交流の証として記念品の交換をしました。また、研修団員一人ひとりに現地校生徒が付き添って、校内を案内してもらい、美容師課程の授業を見学し日本の学校との違いに団員達は驚いていました。短い時間のなかではありましたが、同年代の友達と英会話で交流をすることができたことは貴重な体験となったことでしょう。

今回の研修では、多民族国家であるシンガポールやマレーシアで、公用語である英語を通して、お互いの文化・生活・宗教を理解し尊重して生活している様子を肌で実感することができました。

この経験が、将来を担う中学生たちにとって国際社会への関心を高めるとともに、日本の文化・日本の良さなどを再認識する一つのきっかけになってくれればと思います。



班別自主研修 MRT乗り場にて



交流会 書道の体験を指導



交流会 学校案内で説明を受ける様子



マレーシア文化村でバティック体験

その他の主な事業

職員採用試験事業

構成市、圏域内一部事務組合の職員採用試験を合同で実施し、経費の節減・採用候補者の資質の均一化を図ります。

平成25年度

実施日：平成25年9月22日（日） 試験会場：旭市立第二中学校

参加団体：5団体（鉾子市、旭市、匝瑳市、匝瑳市横芝光町消防組合、東総広域水道企業団）

試験職種：14職種（一般行政職、技術職、保育士職、消防職等）

応募者数：484名 受験者数：436名

職員共同研修事業

構成市職員の公務員として執務に必要な基礎的知識を習得するとともに、指導力及び勤務能率の向上を図ります。

新任職員研修：新規採用職員

中級職員研修：在職期間10年以上の職員

監督者研修：係長又は同等の職にある者 …… ほか

情報公開制度・個人情報保護制度の運用状況

平成25年 情報公開制度運用状況

開示請求件数 …… 7件

うち開示件数 …… 7件

平成25年 個人情報保護制度運用状況

開示請求件数 …… 0件